

1. 令和 5 年度定時社員総会報告

令和 5 年 4 月 14 日 (金) 開催の令和 5 年度定時社員総会 (下関市生涯学習プラザ 海のホール) において、標記の件が以下の通り承認されました。

(1) 令和 4 年度収益事業会計収支決算について

同定時社員総会において、令和 4 年度収益事業会計収支決算が承認されました。

正味財産増減計算書 (収益事業分)

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで
(単位: 円)

科 目	収益事業合計
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	0
学術評議員受取会費	0
一般会員受取会費	0
終身会員受取会費	0
病理専門医部会費	0
海外会員年会費	0
事業収益	53,794,204
学術集会収益 (展示会セミナー収益)	50,278,001
賠償保険事務収益	3,516,203
受取委託収益	0
受取委託収益	0
受取補助金等	0
受取寄付金	0
受取寄附金	0
雑収益	8,499,080
受取利息	155
雑収益	0
PI ロイヤリティ	8,498,925
経常収益計	62,293,284
(2) 経常費用	
事業費	55,715,626
消耗品費	41,800
印刷製本費	8,140,000
支払手数料	272,370
学術集会会場費	9,404,755

学術集会設営費	12,790,758
学術集会人件費	6,470,484
学術集会業務委託費	0
学術集会広告費	1,449,435
学術集会印刷費	99,931
学術集会会議費	1,223,375
学術集会 WEB 開催費用	11,134,043
学術集会通信運搬費	0
学術集会諸費用	4,688,675
管理費	424,967
租税公課	424,967
経常費用計	56,140,593
評価損益等調整前当期経常増減額	6,152,691
法人税等	1,065,700
当期経常増減額	5,086,991

(2) 名誉会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の 6 名が令和 5 年度新名誉会員に推戴されました (敬称略・ABC 順)。

青笹 克之 福本 学 加藤 良平
黒田 誠 野島 孝之 横山 繁生

(3) 功労会員の推戴について

同定時社員総会において、以下の 30 名が令和 5 年度新功労会員に推戴されました (敬称略・ABC 順)。

相田 真介 有馬 良一 綾田 昌弘 一迫 玲
稲山 嘉明 伊藤以知郎 菅間 博 片岡 寛章
加藤 雅子 川端 晃幸 茅野 秀一 前田 環
三浦 弘資 三宅 敏彦 中江 大 中山 淳
大慈弥悠子 大澤 政彦 小野田 登 竿尾 光祐
渋谷 和俊 清水 禎彦 下川 功 菅井 有
梶村 春彦 土井田 誠 辻村 亨 植草 利公
横井 豊治 米原 修治

(4) 学術評議員の承認について

同定時社員総会において、以下の 61 名が令和 5 年度新学術評議員として承認されました (敬称略・ABC 順)。

千葉 知宏 藤井 智美 羽賀千都子 濱保 英樹
服部 公亮 日向 宗利 廣嶋 優子 一戸 昌明
今田 浩生 石井 文彩 石川 亮 板垣 裕子
伊藤 寛朗 岩崎 健 川西 邦夫 川島 啓佑
河田 卓也 菊地 淳 木下伊寿美 桐村 進
木内 静香 木内 隆之 清川 博貴 小上 瑛也
呉 壮香 前田 紘奈 牧瀬 尚大 増田 渉

松田 勝也	三石 雄大	毛利 太郎	武藤 礼治
野口 映	沼倉 里枝	大久保貴子	大島 健司
尾崎 充彦	太田 昌幸	小山 雄三	櫻井 映子
里見 英俊	澤住 知枝	重松 康之	清水 亜衣
杉浦 善弥	鈴木 理樹	鈴木 麻弥	高畠 清文
高柳奈津子	竹内 真衣	種田 積子	谷 里奈
谷川 真希	寺田 和弘	内山 智子	渡辺 紀子
山下 高久	山崎 真美	安井万里子	吉田 正行
吉澤佐恵子			

(5) 第 71 回秋期特別総会会長選出について

同定時社員総会において、以下候補者が第 71 回（令和 7 年度）秋期特別総会会長として承認されました。

都築 豊徳
 （愛知医科大学医学部病理診断学講座）

(6) 第 115 回総会会長選出について

同定時社員総会において、以下候補者が第 115 回（令和 8 年度）総会会長として承認されました。

田中 伸哉
 （北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室）

2. 2023 年度会費、専門医部会費請求スケジュールについて

(1) 払込用紙をご利用の方

払込用紙発送：5 月初旬～5 月中旬頃
 払込用紙は会員システムにご登録の送付先にお送りいたします。
 2023 年度会費振込期限：6 月 30 日（金）

(2) 口座自動振替をご利用の方

口座自動振替日：6 月 23 日（金）
 現在、口座自動振替をご利用の方が対象です。2024 年度より口座自動振替をご希望の方は事務局までご連絡ください。学生会員の方はお申し込みができません。ご了承ください。

3. 【重要】希少がんサイト・病理情報ネットワークセンター停止期間のお知らせ

希少がんサイト・病理情報ネットワークセンターの現行のハウジングによるサーバ保守契約満了に伴うクラウド移設作業のため、下記の期間において使用停止となります。

停止期間
 新スライドアップロード不可期間：
 2023 年 8 月 5 日（土）0:00～8 月 15 日（火）23:59
 サイト停止期間：
 2023 年 8 月 16 日（水）0:00～8 月 31 日（木）23:59
 運用再開予定日
 2023 年 9 月 1 日（金）13:00

上記の期間は、希少がんサイト（E-ラーニング含む）および病理情報ネットワークセンター（各支部利用を含む）の活用等、一切の利用（登録・閲覧等）ができなくなります。

病理専門医更新のための E-ラーニング受講（15 単位まで）をお考えの先生方や、各支部でご活用をご予定の先生方は特にご注意ください。

運用再開は 2023 年 9 月 1 日（金）13 時を予定しておりますが、不測の事態に備え、できれば停止期間前のご利用をお願いいたします。

セキュリティ強化と今後の長期間運用に伴う移設作業となります。期間中、ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご了承のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

希少がんサイト：
<https://rarecancer.pathology.or.jp>
 病理情報ネットワークセンター：
<https://e-learning.pathology.or.jp/?redirect=0>

4. 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更に伴う病理解剖の感染予防策について

本年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の位置付けが五類感染症に変更されます。

これに伴い、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策については、個人や事業者の判断に委ねることを基本とし、政府は個人や事業者の判断に資するような情報の提供を行うこととされております。

他方で、5 月 8 日以降も新型コロナウイルスの感染・伝播性が大きく変わる可能性は低く、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の病理解剖については、引き続き、病理解剖の手技に伴う感染性エアロゾル発生と感染性ウイルスを含んだ体液への接触感染に注意する必要があります。

これらを踏まえ、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の解剖においては、引き続き適切な感染対策を継続することを推奨しつつ、具体的な感染対策については個人や事業者の判断に委ねることといたします。

なお、国立感染症研究所からも感染法上の扱い変更後の病理解剖の感染対策に関して指針が発出される予定になっております。指針が発出されましたら、会員ページにてお知らせいたします。

5. 「がん全ゲノム解析等のための検体取扱いガイダンス 第 1 版（暫定版）」の策定

この度、「がん全ゲノム解析等のための検体取扱いガイダンス 第 1 版（暫定版）」を策定いたしました。

本ガイダンスは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）令和 3 年度 革新的がん医療実用化研究事業「全ゲノム情報を患者に還元するためのゲノム・臨床情報基盤

の研究」の研究課題の一環として、日本病理学会 ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程策定ワーキンググループが主体となって、策定したものになります。

今後、本格的に開始される「全ゲノム解析等実行計画」において、本ガイダンスが、全ゲノム解析等に供する検体を取扱う医療機関において、病理医をはじめゲノム医療従事者の実務の一助になることを祈念しております。

詳細は以下よりご確認ください。

<https://pathology.or.jp/jigyoku/post-4.html>

6. トラスツズマブ デルクステカン適応 HER2 低発現乳癌の診断についてのお知らせ

2023年3月27日にトラスツズマブ デルクステカン (T-DXd) (商品名エンハーツ) が、「化学療法歴のある HER2 低発現の手術不能又は再発乳癌」に適応拡大されました。

T-DXd を保険診療下で HER2 低発現乳癌に使用する場合には、同3月3日に薬事承認されたコンビオン診断薬を用いた免疫組織化学 (以下、IHC) 検査による「HER2 低発現」の HER2 判定が必要となります。本 IHC 検査の要点・留意事項は以下になります。

(1) HER2 低発現乳癌とは

「HER2 IHC 1+」または「IHC 2+かつ ISH 陰性」の乳癌です。

(2) HER2 低発現乳癌に対する保険下での T-DXd 使用のためには

a. コンビオン診断薬ベンタナ ultraView パスウェー HER2 (4B5) 以下 CDx) による HER2 低発現の確認が必要です。

b. CDx による HER2 低発現の判定結果は 2023 年 3 月 27 日以降のものが必要です (つまり、当面、新たに CDx を用いた HER2 再検査が必要)。

c. CDx を用いた HER2 再検査の医学的な対象は、過去の HER2 検査で陰性 (IHC 0, 1+, 2+かつ ISH 陰性) で、かつ、今後 T-DXd の使用を考慮する場合です。

d. CDx によるスコア判定は厳密に行う必要があります。特に、低発現の診断には注意を要するため、「ベンタナ ultraView パスウェー HER2 (4B5) 判定ガイド～乳癌編～」(別添) を御参照ください。

e. T-DXd の適応は、従来の HER2 陽性と HER2 低発現の両者となるため、T-DXd 使用においては事実上 ISH 検査は不要です。

(3) 現状における問題と現時点での対応 (2023 年 3 月 27 日から CDx 保険適用まで)

CDx の薬事承認は得られていますが、現時点で保険適用はされていません。保険適用までの期間は、必ず「第一三共提供検査プログラム」または「患者全額負担」によって CDx 検査を行う必要があります。臨床医・病理医・医

事課の間で連携をとり、検査のコスト請求が通常の保険診療に流れて行かないよう御留意下さい。

詳細については以下をご覧ください。なお保険外併用療養費制度下での HER2 IHC 検査実施は、当該 CDx が保険適用になるまでの期間になります (当該 CDx の保険適用には 1～3 ヶ月かかる見込みです)。

https://e-learning.pathology.or.jp/pluginfile.php/24436/mod_resource/content/3/oshirase20230410.pdf

参照 HP:

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/-her2.html>

7. 2023 (令和 5) 年度 第 4 回分子病理専門医試験要綱

出願は今回から電子化されますのでご注意ください。

1) 出願資格

- (1) 日本病理学会会員であること。
- (2) 出願時に病理専門医もしくは口腔病理専門医であること。(※要確認 出願に関する注意事項①)
- (3) 日本病理学会主催のゲノム病理標準化講習会を受講していること。
- (4) 日本病理学会主催の分子病理専門医講習会を受講していること。
- (5) エキスパートパネルに参加していること。

2) 出願フォーム記載項目

申請前に以下の情報をあらかじめ把握し入力できるようにしておく必要がある。

氏名・性別・生年月日・e-mail アドレス・会員番号・病理専門医または口腔病理専門医認定番号・現勤務先・職名・勤務先住所・電話番号・現住所・電話番号・所属施設の勤務先区分 (がんゲノム医療中核拠点病院/がんゲノム医療拠点病院/がんゲノム医療連携病院/その他)・講習会受講日・申請年度までの病理学会会費を完納しているか (していない場合は申請できません)・申請時点で分病理専門医 (暫定) であるか否か。

※ e-mail アドレス、現勤務先は会員システムと同一であること。

3) 出願必要書類

申請前に下記書類データを準備する。(2)～(5) は pdf 化しておく必要がある。

- (1) 申請者本人の顔写真のデータ (jpg, png のみ) (出願前 3 か月以内に撮影された正面・上半身・脱帽の写真)
- (2) エキスパートパネル参加証明書
書式
https://www.pathology.or.jp/senmoni/mtblist_4th.xlsx
3 回の参加が必要。署名入り原本を PDF 化すること
- (3) ゲノム病理標準化講習会 受講修了証※領域講習の受講証ではありません。ご注意ください。
- (4) 分子病理専門医講習会 受講修了証
- (5) 受験手数料の振込受領証の控え (ネットバンキングの場合は振込んだことが分かるページ)

- 4) 出願期間：2023年9月1日（金）13時より
10月2日（月）13時まで
- 5) 受験手数料：40,000円
（資格審査料10,000円 試験料30,000円）
申請時前納のこと（納付方法は注意事項②を参照）
- 6) 試験実施日：2023年12月17日（日）
- 7) 試験会場：TOC有明 コンベンションホール4階
〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7
- 8) 試験時間：
10時～11時30分 I型（選択問題：マークシート）
13時～15時 II型（記述問題）
- 9) 資格認定料：10,000円
※合格者には後日請求いたします
- 10) 認定証交付日：2024年4月1日
- 11) 出願サイト：出願時期が近づきましたら以下HP
へにアップいたします
<https://www.pathology.or.jp/senmoni/20230403mp-info.html>

【分子病理専門医試験出願に関する注意事項】

書類不備の場合には出願が受理されないことがあります。出願に当たっては以下の点にご留意してください。

①出願資格に関して

分子病理専門医受験申請は、病理専門医/口腔病理専門医合格年度の次年度以降、可能とする。

②エキスパートパネル参加証明書について

エキスパートパネル参加証明書は署名の入った原本をPDF化したものを提出してください。直近の1年間の参加証明が必要になります。

詳細は以下ページをご確認ください。

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/20221018mp.html>

例：第4回 分子病理専門医試験受験の場合

2022年10月1日～2023年9月30日までの期間で3回の参加証明が必要。

③受験手数料：納入期間2023年9月1日（金）より

10月2日（月）まで（厳守）

納入期間外のお振り込みは受けません。

下記の口座に必ずご本人名義でお振込みください。振込手数料は各自でご負担ください。

振込の際には振込人名義「会員番号(6桁)+申請者氏名」を必ずご入力ください。

施設名でお振り込みの場合は、病理学会宛にメール(jsp-admin@umin.ac.jp)でご連絡ください。

【振込口座】 みずほ銀行 本郷支店 普通 1153880

一般社団法人日本病理学会

【受験手数料】 40,000円

※受験資格が認められなかった場合、試験料30,000円から振込手数料を差し引いた額を返金致します。

※ネットバンキングご利用の場合は振込完了の内容が分

かるページを印刷して添付してください。

④分子病理専門医受験資格対象となるゲノム病理標準化講習会について

2018年度（2018年10月）以降に開催された日本病理学会主催の「ゲノム病理標準化講習会」が対象となります。東京大学主催のゲノム病理標準化センター講習会は対象となりませんのでご注意ください。提出時の間違いが多くなっておりますので今一度ご確認を宜しくお願い致します。

⑤分子病理専門医講習会について

過去の講習会の受講証も有効です。また、過去に出願に使用した受講証も有効です。ただし分子病理専門医試験は直近の講習会の内容から出題されますのでご留意ください。

⑥病理学会会員システムについて

試験に関する郵送物は会員システムに登録の送付先へお送りいたします。会員システムは常に最新の情報に更新してください。会員システムにはご所属先を必ず登録してください

8. 一般市民向け「病理」の広報について

病理学会では、一般市民の皆様にはわかりやすく「病理」を知っていただくために、紹介動画と漫画を作成いたしました。ぜひ、ご覧いただければと思います。

1) 病理の動画のご案内

病理学会では、一般市民の皆様にはわかりやすく「病理」を知っていただくために、紹介動画を作成いたしました。ぜひ、ご覧いただければと思います。

詳細は以下よりご確認ください。

<https://pathology.or.jp/ippan/pv-171211.html>

2) 漫画『病理医になるには?』のご案内

詳細は以下よりご確認ください。

<https://pathology.or.jp/ippan/pv-171211.html>

9. 日本病理学会100周年記念病理学研究新人賞授賞式の御報告

将来的に日本の病理学がバランスよく発展していくためには、臨床側面である病理診断だけでなく、その基盤となる病理学研究も強力に推進する必要があります。ところが昨今の若手医師における研究指向者の激減は憂慮すべき問題です。この問題を少しでも解決するために、本賞は創立100周年記念事業の一環として、医師・歯科医師で33歳以下の病理学関連講座大学院博士課程在籍者（MD/PhDコースの大学院博士課程在籍者も含む）を対象として平成

23年度から設けられたものです。

令和4年度は6名の応募者がありましたが、全員が1次審査を通過し2次審査に臨みました。第112回日本病理学会総会第1日目午後2次審査を実施し、以下の3名のみなさんの受賞が決定しました。ますますの研究の発展を祈念します。今年残念ながら落選されたみなさんも、また新たな仕事の進展があった大学院生のみなさんも、来年名古屋で是非挑戦していただきますようお願いいたします。



令和4年度受賞者（写真一番右は池田栄二会長，右から左，左は小田義直理事長）

松田 紘典（慶應義塾大学）

肝細胞癌の血管構造解析ならびに血管新生因子発現解析

小山 慧（秋田大学）

正常卵管に存在するβ-catenin異常細胞集塊"β-catenin signature

城戸 完介（大阪大学）

SMARCA4低発現且つSMARCA2高発現の卵巣高異型度漿液性癌細胞がプラチナ製剤抵抗性に寄与する

10. 2023年度 剖検講習会について

第112回日本病理学会総会オンライン総会（2023年4月27日～6月19日）にて開催される剖検講習会についてお知らせいたします。病理専門医試験受験予定者は受講必須の講習会です。未受講の方は受験までに1度は必ず受講し、受験資格用の受講証を取得してください。WEB受講後にダウンロードした剖検講習会受講証（領域講習）は、受験申請には利用できませんのでご注意ください。受験資格用の受講証取得には、課題に対する回答レポートの提出が必要です。

詳細は以下よりご確認ください。

https://www.pathology.or.jp/news/seminar_of_autopsy_diagnosis2023HP.pdf

11. 2023年度病理診断講習会 WSI 公開（会員専用）

2023年度病理診断講習会 WSI を病事情報ネットワークセンターに掲載いたしました。

病理診断講習会は「病理専門医の生涯教育」と「病理専門医を目指す若手病理医の診断力の向上と知識の整理」を

目的としています。系統のおよび臓器別の病理診断講習会があり、学会参加者に人気の高いプログラムとなっております。当該分野でご活躍中の先生方に講師をお願いしておりますので、病理学的概念など系統的な理解や病理診断を実践するための有用な情報の得られる講習をお楽しみください。

2019年度より臓器別病理診断講習会でご講演いただく先生方に、講演のキーポイントとなる症例にガラス標本をおかりし、Whole Slide Image (WSI) 化したものをこのページからアクセスできるようにしました。呈示症例を事前にご覧いただくことで、講習会がより一層有用なものになると思われまます。講習会終了後には症例解説とともにご覧いただけますので、生涯教育のコンテンツとしてもぜひご利用ください。

<https://e-learning.pathology.or.jp/course/index.php?categoryid=16>

12. 第12回ゲノム病理標準化講習会について

本講習会は、「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程（羊土社：日本病理学会策定）」をテキストとし、配布するハンドアウトを併用した、ゲノム研究のための病理組織検体の取扱い（研究用規程の解説）・組織バンキング・ゲノム研究の実際等に関する講習になります。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

【開催概要】

会 期：令和5年7月1日（土）10:00～
7月31日（月）23:59

開催方法：オンデマンド配信

参加申込期間：

4月25日（火）13:00～5月24日（水）23:59

【単位付与等】

- ① 病理専門医更新のための病理領域講習4単位
- ② 病理専門医試験の受験資格「分子病理診断に関する講習会」

なお、専門医試験必須講習会についてはこちらを参照してください

- ③ 分子病理専門医試験の受験資格

2018年度（2018年10月）以降に開催された日本病理学会主催の「ゲノム病理標準化講習会」が対象となります。東京大学主催のゲノム病理標準化センター講習会は対象となりませんのでご注意ください。

詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.pathology.or.jp/news/whats/genome-seminar20230701-31.html>

13. 第3回 分子病理 Up to Date 講習会（兼 分子病理専門医更新講習会）について

本講習会は分子病理の最新の知見を織り交ぜた講習会で、分子病理専門医更新要件にもなっている講習会です。分子病理専門医以外の病理学会会員もご受講いただけます。ご興味のある方はご参加ください。

<講師>

「分子病理専門医に関して」

佐々木 毅

「がんゲノム医療における分子病理専門医」

竹内 康英

「がんゲノム検査におけるバイオインフォマティクス解析について」

鷲尾 尊規

「がんゲノム医療における二次的所見について」

桑田 健

「分子病理専門医出題例の解説」

中黒 匡人

「コンパニオン診断の整理」

畑中 豊

「臓器別分子病理講義：婦人科癌（子宮体癌）」

柳井 広之

- 3021 J R 東京総合病院
- 3022 国家公務員共済組合連合会虎の門病院
- 3023 独立行政法人国立病院機構相模原病院
- 3028 日本赤十字社医療センター
- 3039 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院
- 3045 公立学校共済組合関東中央病院
- 3046 地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立多摩総合医療センター
- 3048 さいたま赤十字病院
- 3054 東京都済生会中央病院
- 3061 東京歯科大学市川総合病院
- 3062 東京都立墨東病院
- 3064 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会横浜市南部病院
- 3069 茨城県立中央病院茨城県地域がんセンター
- 3070 社会医療法人社団
千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
- 3072 一般財団法人自警会東京警察病院
- 3073 社会医療法人社団健生会立川相互病院
- 3074 千葉県こども病院
- 3077 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
- 3079 総合病院土浦協同病院
- 3094 医療法人社団東光会戸田中央総合病院
- 3095 独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院
- 3096 地方独立行政法人東京都立病院機構
東京都立大久保病院
- 3097 社会医療法人河北医療財団河北総合病院
- 3112 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
- 3113 埼玉県済生会川口総合病院
- 3116 日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院
- 3117 川崎市立井田病院
- 3118 一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院
- 3126 埼玉県立小児医療センター
- 3128 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター
- 3129 公益社団法人地域医療振興協会
東京ベイ・浦安市川医療センター
- 3131 社会医療法人財団石心会川崎幸病院
- 3139 公益社団法人地域医療振興協会
横須賀市うわまち病院
- 4005 富山市立富山市民病院
- 4007 新潟市民病院
- 4008 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
- 4009 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
- 4015 長野赤十字病院
- 4016 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
- 4017 静岡県立総合病院
- 4019 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- 4020 独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院
- 4024 長岡赤十字病院
- 4026 社会福祉法人聖隷福祉事業団
総合病院聖隷浜松病院

<開催概要>

【日時】2023年7月1日（土）10:00（接続開始9:45）
から15:15頃

【開催方法】zoom ウェビナーによる WEB 講習会
（ライブ配信のみ）

【受講料】20,000円（ハンドアウト代込み・事前送付）

【受講資格】分子病理専門医・病理学会会員

【定員】600名・先着順 ※定員には余裕がございますので安心してお申し込みください

【受講申込期間】5月10日（水）13:00～
5月16日（火）13:00

詳細は下記よりご確認ください

<https://www.pathology.or.jp/senmoni/up-to-date0701web.html>

14. 令和5年度病理専門医研修施設更新機関

(1) 病理学会研修認定施設について

以下116の認定施設更新が承認されました。

現在の認定施設総数は362です。

期間2年間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

認定番号	施設名
1009	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
1023	北海道立子ども総合医療・療育センター
1024	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院
2005	山形県立中央病院
2006	一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院
2022	独立行政法人労働者健康安全機構東北労災病院
2023	仙台市立病院
2024	東北医科薬科大学病院
2026	秋田赤十字病院
2039	大崎市民病院
3006	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター
3020	公益財団法人がん研究会有明病院

2031	独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター	3163	独立行政法人地域医療機能推進機構東京高輪病院
2033	青森市民病院	3168	公立富岡総合病院
2034	米沢市立病院	3169	越谷市立病院
2035	公立岩瀬病院	3170	医療法人財団健和会みさと健和病院
2037	つがる西北五広域連合つがる総合病院	3174	社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷横浜病院
2041	岩手県立中部病院	3175	医療法人徳洲会東京西徳洲会病院
2044	山形市立病院済生館	3176	公益財団法人日産厚生会玉川病院
2052	青森保健生活協同組合あおり協立病院	4024	浜松赤十字病院
2053	一部事務組合下北医療センターむつ総合病院	4028	岡谷市民病院
2054	岩手県立磐井病院	4030	高山赤十字病院
2055	石巻赤十字病院	4043	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院
3027	桐生厚生総合病院	4047	医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院
3028	総合病院厚生中央病院	4064	長野県立こども病院
3029	川崎医療生活協同組合川崎協同病院	4065	土岐市立総合病院
3036	社会医療法人社団 順江会 江東病院	4073	恩賜財団済生会松阪総合病院
3055	横浜市立みなと赤十字病院	4076	独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター
3058	神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院	4077	医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院
3059	北里研究所病院	4088	医療法人偕行会名古屋共立病院
3060	神奈川県立循環器呼吸器病センター	4089	社会医療法人志聖会総合犬山中央病院
3078	東京品川病院	4090	国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
3081	利根保健生活協同組合利根中央病院	4094	伊那中央病院
3085	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院	4095	独立行政法人労働者健康安全機構旭労災病院
3091	神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院	4098	安曇野赤十字病院
3096	独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院	4100	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
3097	群馬県済生会前橋病院	4111	名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院
3112	千葉県済生会習志野病院	4115	岐阜赤十字病院
3113	佐野厚生総合病院	4117	独立行政法人長野県立病院機構長野県立木曾病院
3118	群馬県立心臓血管センター	4119	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
3119	国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院	4120	常滑市民病院
3120	公益社団法人山梨勤労者医療協会甲府共立病院	4121	愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院
3126	水戸済生会総合病院	4128	成田記念病院
3127	深谷赤十字病院	4135	福井総合病院
3128	国家公務員共済組合連合会東京共済病院	4136	愛知県がんセンター
3130	社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院	4138	独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター
3133	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター	4139	独立行政法人地域医療機能推進機構
3134	老年病研究所附属病院		四日市羽津医療センター
3135	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	4142	岐阜県厚生農業協同組合連合会
3136	埼玉県立がんセンター		東濃中部医療センター東濃厚生病院
3138	日野市立病院	4147	津島市民病院
3142	友愛記念病院	4148	岐阜県厚生農業協同組合連合会
3143	群馬県立がんセンター		岐阜・西濃医療センター揖斐厚生病院
3145	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4149	JA 長野厚生連佐久総合病院
3146	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	4150	諏訪赤十字病院
3147	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院	4151	独立行政法人国立病院機構静岡医療センター
3149	東京都立松沢病院	4152	岐阜県総合医療センター
3150	厚木市立病院	4153	三重県立総合医療センター
3160	公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院	5014	近江八幡市立総合医療センター
3161	株式会社日立製作所 日立総合病院	5024	京都中部総合医療センター
3162	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院	5036	市立吹田市民病院
		5045	西脇市立西脇病院
		5049	医療法人川崎病院

5054	ベルランド総合病院	6080	マツダ株式会社マツダ病院
5057	国家公務員共済組合連合会大手前病院	6081	庄原赤十字病院
5060	公立甲賀病院	6083	市立三次中央病院
5061	彦根市立病院	6085	徳島県厚生農業協同組合連合会 吉野川医療センター
5065	社会医療法人きつこう会多根総合病院	6089	松江赤十字病院
5070	市立ひらかた病院	6090	市立宇和島病院
5075	医療法人宝生会 PL 病院	7005	日本赤十字社長崎原爆病院
5080	社会医療法人景岳会南大阪病院	7012	熊本赤十字病院
5083	社会医療法人阪南医療福祉センター阪南中央病院	7018	独立行政法人地域医療機能推進機構宮崎江南病院
5085	北播磨総合医療センター	7025	総合病院鹿児島生協病院
5091	綾部市立病院	7034	独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院
5092	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院	7037	福岡市立こども病
5093	市立池田病院	7038	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
5094	市立芦屋病院	7039	社会医療法人同心会古賀総合病院
5095	市立岸和田市民病院	7047	宮崎県立日南病院
5100	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院	7052	南部徳洲会病院
5112	医療法人伯鳳会赤穂中央病院	7054	大分赤十字病院
5121	市立福知山市民病院	7069	国家公務員共済組合連合会浜の町病院
5122	八尾市立病院	7071	社会医療法人大成会福岡記念病院
5123	一般財団法人住友病院	7072	大分県済生会日田病院
5124	兵庫県立淡路医療センター	7080	福岡山王病院
5130	国家公務員共済組合連合会枚方公済病院	7081	独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター
5133	和泉市立総合医療センター	7082	聖フランシスコ病院
5134	社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院	7086	福岡和白病院
5135	野崎徳洲会病院	7087	北九州市立八幡病院
5138	兵庫県立西宮病院	7088	飯塚市立病院
6002	国家公務員共済組合連合会広島記念病院	7089	国家公務員共済組合連合会熊本中央病院
6011	総合病院水島協同病院	7090	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター
6012	高知赤十字病院	7097	大分県厚生連鶴見病院
6014	高松市立みんなの病院	7098	沖縄県立宮古病院
6016	下関市立市民病院	7099	沖縄赤十字病院
6018	岡山医療生活協同組合総合病院岡山協立病院	7102	公立八女総合病院
6019	一般財団法人永頼会松山市民病院	7103	社会医療法人財団池友会新小文字病院
6022	徳島県立中央病院	7104	社会医療法人財団池友会新行橋病院
6024	鳥取市立病院	7105	社会医療法人共愛会戸畑共立病院
6025	独立行政法人国立病院機構福山医療センター	7107	医療法人医和基会戸畑総合病院
6036	福山市医師会健康支援センター	7108	公益社団法人日本海員掖済会門司掖済会病院
6038	社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院	7109	独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院門司メディカルセンター
6039	済生会西条病院	7110	社会医療法人春回会 井上病院
6040	愛媛県立今治病院	7113	熊本市立熊本市市民病院
6041	独立行政法人国立病院機構高知病院	7114	公益社団法人北部地区医師会北部地区医師会病院
6044	公立学校共済組合中国中央病院	7120	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
6045	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院		
6049	一般財団法人倉敷成人病センター		
6053	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター		
6054	独立行政法人労働者健康安全機構山口労災病院		
6060	香川県厚生農業協同組合連合会屋島総合病院		
6068	地方独立行政法人岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院		
6077	松江市立病院		
6079	益田赤十字病院		

15. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

溝口 幹朗 元学術評議員（令和5年3月22日ご逝去）

お知らせ

1. 【周知依頼】ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，頭頸部癌，腎細胞癌，古典的ホジキンリンパ腫，胃癌，悪性胸膜中皮腫，高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する結腸・直腸癌，食道癌，原因不明癌及び尿路上皮癌）の一部改正について

標記の件につき，厚生労働省医薬・生活衛生局医薬品審査管理課より周知依頼がありました。詳細は下記の URL を参照下さい。

参照：

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T230327I0060.pdf>

2. 【周知依頼】C 水準説明会 動画公開について

標記の件につき，厚生労働省医政局医事課より周知依頼がありました。基本 19 領域の専門研修を行う専攻医の先生方に対する医師の働き方改革の制度的対応，及び C-2 水準関連審査についての説明動画です。詳細は下記の URL を参照下さい。

【動画 URL】

<https://www.youtube.com/watch?v=8HiePH5m6ys>

（動画は令和 5 年以内に削除予定）

参考資料

<https://www.pathology.or.jp/news/20230428C.pdf>

3. 【周知依頼】日本医学会創立 120 周年記念事業「未来への提言」について

標記の件につき，日本医学会より周知依頼がありました。詳細は下記の URL を参照下さい。

https://jams.med.or.jp/jams120th/images/teigen_jams120th.pdf

目次：

はじめに

序 章 「未来への提言」発出にあたって

第 1 章 地球規模の健康問題への対応

第 2 章 超高齢・少子化社会への対応

第 3 章 研究力の向上

第 4 章 医療倫理・研究倫理の深化

第 5 章 医療のあり方

4. 日本学術会議主催学術フォーラム 企画案の募集について

令和 5 年度第 3 四半期募集分

開催予定時期：令和 5 年 10 ～ 12 月

申込み締切：令和 5 年 5 月 31 日（水）

必要書類・手続き等：以下の URL をご確認ください。

<https://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/106.pdf>

5. 上原国際シンポジウム 2023 - Big Data-Driven Approaches with AI in Life Sciences -開催お知らせについて

テーマ：

Big Data-Driven Approaches with AI in Life Sciences

開催期間：2023 年 6 月 5 日（月）～ 6 月 7 日（水）

開催形態：現地—オンライン

ハイブリッド開催（Zoom Webinar）

参加費：無料

参加申込：<https://www.ueharazaidan.or.jp/>

登録期間：2023 年 4 月 1 日（土）～ 5 月 31 日（水）

Meet the Expert：6 月 5 日夕刻開催

（要登録，先着順，5 名/Expert）

<Experts> Dr. Atul J. Butte, Dr. Rob Knight, Dr. Ross D. King 他 6 名

登録期間：2023 年 4 月 1 日（土）～ 5 月 8 日（月）

事務局：公益財団法人 上原記念生命科学財団

URL：<https://www.ueharazaidan.or.jp/>

TEL：03-3985-8400 FAX：03-3982-5613

Email：mail85@ueharazaidan.or.jp